

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)

【公開番号】特開 2008-72356 (P2008-72356A)

【公開日】平成 20 年 3 月 27 日 (2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報 2008-012

【出願番号】特願 2006-248334 (P2006-248334)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/12 Z

H 0 4 N 1/04 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 16 日 (2009.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

図 4 a ~ 図 4 c の (a) 乃至 (g) は、図 1 の画像読取装置による原稿流し読み時におけるスキャナユニットの状態を模式的に示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

原稿の読み込み及び排紙が全て完了すると、図 4 c の (g) に示すように、スキャナユニット 2 0 9 を矢印の方向に移動させる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

図 5 a ~ 図 5 b の (a) 乃至 (f) は、図 1 の画像読取装置による原稿反転時におけるスキャナユニットの状態を模式的に示す図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

図 4 a ~ 図 4 c の (a) 乃至 (g) の一連の動作により (ただし、N 枚目の原稿を読んでいる最中には、(N + 1) 枚目の原稿の給送を行わず、かつ、原稿裏面読取部 1 7 を使用しないものとする)、原稿を排紙部に嚙ませた状態で停止させる。(a)。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0072
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0072】

図7において、まず、ステップS801で初期化処理の開始を待つ。初期化処理の開始を受けたらランプ305を消灯する(ステップS802)。そしてランプ305を消灯した状態で黒レベル調整を行う(ステップS803)。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0073
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0073】

黒レベル調整では、CIS308が黒色を読み取った時の黒データ出力を調整する。黒レベル調整の終了を受けてランプ305を点灯する(ステップS804)。ランプ305が点灯したら、一度CIS308で画像読み取りを行い(ステップS805)、黒ベタ部材603(黒帯)が検出できるか否かを判定する(ステップS806)。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0074
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0074】

黒ベタ部材603が検出できていた場合には、移動ガラス18を一旦逆方向に(後述する図8で示す方向B)に所定距離だけ移動させる(ステップS807)。この所定距離とは、初期状態において読み取り位置が黒ベタ部材603内のどの位置にあっても確実に黒帯領域を抜けるだけの移動量である。

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0075
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0075】

ステップS806において黒帯検出できなかった場合、あるいはステップS807においてバック移動した後は、移動ガラス18を順方向(後述する図8で示す方向A)に移動させ(ステップS808)、CIS308で画像を読み取る(ステップS809)。そして、黒ベタ部材603(黒帯)が検出できるか否かを判定し(ステップS810)、黒帯検出するまで上記ステップS808からステップS810の処理を繰り返す。

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0076
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0076】

その後、ステップS810において、黒ベタ部材603が検出できた時点で移動ガラス18の駆動を停止し(ステップS811)、その位置を移動ガラスの基準位置(ホームポジション=HP)と設定する(ステップS812)。

【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 9 】

HPが決まった後は、ステップS8 1 3において、移動ガラス18を白板601に対向する所定の白板読み位置まで移動させ、シェーディング調整を行う（ステップS8 1 4）。その後、ランプ305を消灯し（ステップS8 1 5）、移動ガラス18を所定の画像読み位置まで移動させて（ステップS8 1 6）、原稿裏面読取部17の初期化処理を終了する。